

現状と課題

- ・社会の様々な変化に対応していくためには、市民が自ら学び、生活を向上させる「学ぶ力」を育成することが求められます。
- ・地域のつながりの希薄化が指摘されている現状では、相互に理解し協力して地域社会で生きていくための「つながる力」が必要であり、社会教育を通じて「絆」づくりを促進していく必要があります。
- ・地域の課題などが多様化している中で、各個人が学び、つながった成果を活かして地域の課題を解決する「市民力」の形成が求められています。
- ・より多くの市民を学びと活動の循環へ取り込み、さらに市民の学びを活動へつなげるために地域の大学など様々な主体と連携を強め、各区の特色を活かしながら「学ぶ力」「つながる力」「市民力」を育成し、様々な社会教育振興事業を推進する必要があります。さらに、地域の中で自ら社会教育を担っていくことができる人材を育成する必要があります。
- ・生涯学習の拠点作りとして、社会教育施設の老朽化への対応など生涯学習環境の整備を進めていくとともに、職員の専門性や資質を向上することが必要です。また、図書館においては、地域における読書活動の支援をさらに推進する必要があります。

政策目標

市民の「学ぶ力」を育み、市民の自治力の基礎を培うため、自ら課題を見つけ、自主的に学び、その成果を活かす学びの機会提供を促進します。

社会教育の展開を通じて、市民の学びを通じた出会い（「知縁」）を促進し、それが新たな「絆」「つながり」を生み出すよう支援するとともに、地域における社会教育の担い手を育成していきます。

社会教育施設の長寿命化の推進など生涯学習環境の充実を図ります。

主な取組成果

市民館等では、多文化共生や平和・人権学習などをはじめとする様々な講座を開催し、市民の学ぶ機会を提供し、多くの市民の方の参加がありました。また、市民から地域の課題を募り、協働して企画運営を行う事業を実施することにより、市民の自主的な課題解決への取組の支援を行うことができました。

社会教育施設の長寿命化対策については、関係局区と連携しながら、幸市民館や麻生市民館の改修工事に着手することができました。

参考指標

※ 基本政策の目標の達成度を評価する際に参考とするための数値であり、この数値のみをもって基本政策の成果とするものではありません。基本政策の評価は、事業の進捗状況等を踏まえて総合的に行います。

指標名	実績値	H27	H28	H29	目標値(H29)
教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	81,432人 (H25)	79,326人	—	—	85,000人
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）に参加した人の数【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】					
社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	—	67.5%	—	—	平成27年度実績の5%増
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）を通じて新しい知り合いが増えた人の割合 ※事業参加者を対象に平成27年度からアンケート実施【出典：川崎市教育委員会調べ】					
市立図書館図書タイトル数	81万件 (H25)	82万件	—	—	85万件
川崎市立図書館全館の所蔵図書の全タイトル数。所蔵図書の多様性を表す指標【出典：川崎市教育委員会調べ】					

## 主な課題

市民が地域で自主的に学べるよう既存の事業を引き続き実施していくとともに、多くの市民が地域の学びについて企画運営し、学んだ成果を地域へ還元する仕組みを具体化していく必要があります。

社会教育施設については、対象施設のうち半数以上が築20年以上経過していることから、施設管理者による施設設備の点検結果をもとに、取組を着実に進める必要があります。

## 教育改革推進会議における意見内容

この基本政策Ⅶは、学習を通じた地域づくりや市民同士の学びあいを広げることを目指しているため、市民自主学級等への参加者の推移や、市民館での講座受講をきっかけに活動を開始した人の有無に注目して取組を進めるとよい。

市民館において開催されている様々な講座について、チラシを市民館等に配架するだけでなく、PTA等を活用してイベントの周知を行うとより効果的であると考えられる。

図書館の魅力向上のためには、各館の特色にあわせた個別の施策を打ち出すことが望ましい。また、地域の特色にあわせた読書活動の充実、ひいては市民の学ぶ力を育成するため、学校図書館と各区の図書館との相互連携について検討を進める必要がある。

## 今後の取組の方向性

区役所や関係部局と連携しながら、市民の学習や活動を引き続き支援するとともに、市民の主体的な生涯学習活動が持続的に行われる仕組みづくりの構築に向けた検討を進めます。

社会教育施設の長寿命化等、生涯学習環境の整備と併せて、市民サービスの更なる向上に向けた民間活力の適正な活用方法について検討を進めます。

<b>施策1</b>	<b>自ら学び、活動するための支援の充実</b>
<b>概要</b>	区役所や関係部局、大学、NPO等と連携しながら、市民が自ら学び、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かす生涯学習事業を展開し、知縁による新たな絆、コミュニティを創造するとともに、市民自治の実現を担う人材を育成していきます。

事務事業名	社会教育振興事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育に係る団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図ります。		
	H27	H28	H29
事業計画	学習の成果を地域へ還元する人材や、市民自らの手で学習や活動をコーディネートしていく人材の養成に向けた検討 寺子屋コーディネーターの養成 社会参加・共生推進学習事業の実施 市民自治基礎学習事業の実施 市民学習・市民活動活性化学習事業の実施 市民・行政協働、ネットワーク学習事業の実施 社会や地域のニーズに対応した学習事業の実施 視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施 大学等高等教育機関との連携促進 学習相談事業の実施	         	         
<b>実施状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民による地域の学びのコーディネートや、学習の成果を地域へ還元する仕組みについて、検討を進めました。</li> <li>● 市民館等で各種の社会教育振興事業を実施しました（総受講者数は102,704人）。</li> <li>● 大学等高等教育機関と連携し、生涯学習機会の提供をするとともに、2月には、アトレ川崎にて公開講座体験のイベントを実施しました。</li> </ul>			
<b>課題と今後の取組</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後も、引き続き、既存の事業を継続するとともに、市民による地域の学びのコーディネートや、学習の成果を地域へ還元する仕組みの具体化に向けた取組を進めていきます。</li> </ul>			

事務事業名	図書館運営事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	市民の読書要求に応える読書施設としての機能に加えて、地域情報や生活情報などあらゆる分野で市民が必要とする資料や情報の提供発信を行います。		
	H27	H28	H29
事業計画	多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保		→
	課題解決に役立つ地域資料等の広範な資料の収集・提供		→
	ICT機器を活用した効率的な図書館運営管理		→
	図書館総合システムの円滑な稼働の推進		→
	来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施		→
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成27年度から、全館の選書担当者が定期的に中原図書館に集い、所蔵の是非や所蔵冊数等を検討し、市民ニーズに応える適正な資料整備を行いました。</li> <li>●地域資料等の収集・提供、ICT機器を活用した効率的な運営、図書館総合システムの円滑な稼働、来館困難者等への支援サービスを継続して行いました。</li> </ul>			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も、引き続き、市民の読書要求に応えるとともに、市民の課題解決に資するよう、それぞれの事業を推進していきます。</li> </ul>			

施策2	生涯学習環境の整備
概要	市民の主体的な学びを支援するため、学校施設の有効活用を促進するとともに、社会教育施設の長寿命化を推進し、生涯学習環境の充実を図っていきます。

事務事業名	生涯学習施設の環境整備事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、生涯学習施設の環境整備に取り組みます。		
	H27	H28	H29
事業計画	劣化状況に基づく、生涯学習施設設備の長寿命化対策の推進		→
	社会教育施設の管理運営における民間活力の適正な活用方法の検討		→
	学校施設の有効活用や学校施設を活用した生涯学習事業の実施		→
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●幸市民館及び麻生市民館の屋上防水・外壁改修工事を実施しました。</li> <li>●市民館と図書館の民間活力の適正な活用方法については、教育委員会事務局職員による検討委員会を立ち上げ、現状把握、課題整理等を行いました。</li> <li>●また、教育委員会の附属機関である社会教育委員会議から、市民館、図書館の在り方を中心として、「地域をつなぐ拠点としての社会教育施設を求めて～市民館、図書館のあり方を中心に～」をテーマに、研究報告書がとりまとめられました。</li> <li>●校庭141校、体育館166校、特別教室136校の開放を行うとともに、学校図書館の有効活用や地域団体による学校施設を活用した生涯学習事業などを実施しました。</li> </ul>			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も、引き続き、社会教育施設の長寿命化対策について、推進していきます。</li> <li>●市民館と図書館の民間活力の適正な活用方法については、今後、これらの内容を踏まえ、具体的な取組の実現に向けて、更に検討を進める必要があります。</li> </ul>			

事務事業名	社会教育関係団体等への支援・連携事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	地域における生涯学習の主体として、社会教育関係団体・市民活動組織・NPO等の活動を支援するとともに、相互の連携を図りながら市民と行政の協働によるまちづくりを推進します。		
	H27	H28	H29
事業計画	関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援	→	
	シニア活動支援事業への支援	→	
	市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携	→	
	全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携	→	
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習財団やPTA、川崎市女性連絡協議会等の活動に対して、生涯学習機会の提供に向けた支援を行いました。</li> <li>● 市民の生涯学習活動に資する生涯学習情報の収集と提供について、生涯学習財団と連携しながら、システム構築に向けた支援を行いました。</li> </ul>			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後も、引き続き、各種団体への支援を行うとともに、相互に連携しながら、まちづくりを推進していきます。</li> </ul>			